

議 事 録

会議名	釧路障がい者自立支援協議会 第5回 相談支援部会		
事務局	釧路障害福祉課 釧路市障がい者基幹支援センター		
開催日時	令和6年2月14日（水） 15:00～16:30		
開催場所	釧路市柳町スケートリンク場 会議室		
出席者	部会員	出席者：18名 佐々木部会長（ソーシャルカフェ）、早川副部会長（ハート釧路） 竹内副部会長（つばさ）、森島副部会長（自立センター） 打川協力員（りりーふ） 葛野協力員（のおと）、平間協力員（わんだふる） 山本協力員（いまじん） 竹谷（自立センター）、大塚（自立センター）、森山（にじ）、金子（結） 下山（児童発達支援センター）、高岡（リール）、大峠（そよかぜ） 武田（サハス）、谷口（ハート釧路）、春木（ウルカス） 議事録担当：春木啓孝（ウルカス） （敬称略）	
	その他	なし	
	傍聴者	なし	
	事務局	出席者：5名 小池課長、若園、須藤（釧路障がい福祉課） 柿沼、吉川（釧路市障がい者基幹支援センター） （敬称略）	
会議次第	1. 挨拶 相談支援副部会長 早川 博司 2. 議事 （1）今年度の振り返りと次年度の活動内容について （グループワーク） （2）その他 3. 閉会		

グループ1 発表

振り返り

- ・不登校のくくりが学べて良かった ・地域移行当事者の話しが聞けて良かった ・関りの無い事業所が知れた。
- ・ピアサポーターの声が聞けて良かった、子供の回では関係機関と繋がれて良かった。
- ・児童など個別の関りがあっても相談として一堂に介して関係が作れたのは良かった。
- ・相談年数が少ない物にとって部会を知る事、他の相談員と話せる機会が作れたことは良かったと思う。

次年度に向けて

- ・それぞれの方から相談を受けて対応していきたい、新人育成、知識を蓄えしっかりとした対応をしたい。
- ・ケアマネとの連携が難しい。事業所から障がいサービスだからと線引きをされてしまう。連携を取れないのが悩み。
- ・部会にて情報交換等のフリートークみたいのがあっても良いと思う。

グループ2 発表

振り返り

- ・それぞれの相談員に特色・個性があり新鮮だった。
- ・児童など普段あまり話しを出来ないところから来てもらえたことで相手の考えを聞く事が出来て良かった。
- ・協力員のサポートが大きかった。交代制にして毎回違う協力員だと色々色が出て良いのでは？

次年度に向けて

- ・包括・ケアマネにも参加してもらいたい。特に精神の方を知らないので精神保健士にも参加してもらい学びたい。
- ・自立支援協議会の地域資源の課題解決に向けて意見やアドバイスが欲しい。
- ・ピアサポーターにもまた参加してもらい、話しを聞きたい。

グループ3 発表

次年度に向けて

- ・テーマを決めたらいい。例えば地域と暮らしている人ともっと連携を取れるようにできれば良いのではないか？
福祉サービスを利用するにあたり自立支援協議会のホームページで解りやすい、利用しやすい仕組みにしていってらどうか？
- ・相談員の質の向上。判断基準など話し合いの場を儲けたい。
- ・法改定の仕組みや話しを詳しく知りたい。

グループ4 発表

振り返り

- ・就労Bや放デイ、GH等の違う事業所同士の意見、情報交換はとても為になった。近況を知ることができた。
- ・行動支援を行っている事業所が少なく、利用者のニーズに答えられない。
- ・医ケア時の受け入れ放デイの事業所が少なくサービスを繋げるのに苦労した。

次年度に向けて

- ・地域作りで医ケアコーディネーターの配置。放デイにボランティアの看護師が対応できるようになると素晴らしい。
- ・高次脳機能障害の方など、障がいサービス、介護保険サービスどちらに繋がたら良いか解らない方がいるのでそういう基準がわかる様な仕組みを検討してほしい。
- ・法改定があるので、加算などその事について学べる場が欲しい。

(2) その他

早川副部長より

相談支援部会役員選出については令和6年2月16日（金）までに提出をお願いします。

佐々木部長より

- ・相談支援員やソーシャルワーカーも人間なので精神的に病んでると相談は乗れないし意味がなくなってしまう。自身のケアも必要。
- ・新規相談は2月～3月の時期は忙しく受けるのは厳しいと思うが、制度上断る事はいけないので、今の時期は難しいので〇月だったら対応可能と伝えるようにしましょう。どんな人でも受け入れるという気持ちが大事。
- ・介護保険（ケアマネ）との関りも必要な時があるので連携を取っていきましょう。

3. 閉会

これを持ちまして第5回障がい者自立支援協議会相談支援部会を終了します。